

安来高校植物図鑑（2023年9月）

酷暑が過ぎ外を歩けるぐらいの気温になったので、校地を散策したのですが、安来高校では9月に咲く木本は見当たりませんでした。しょうがないので、2023年になってから新たに見つけた草本を紹介しようと思います。今まであんなに探していたのに、まだまだ気付かなかった草本があったのだなあ、と思った次第です。

マメグンバイナズナ（豆軍配薺）

グンバイナズナよりも果実が小さかったことから、頭にマメという言葉がつけました。グンバイナズナは果実が1cm以上あるのに対し、マメグンバイナズナは3～4mmです。私自身、この植物を久しぶりに見かけて嬉しくなりました。ナズナ(2022年4月に紹介)の仲間、菜の花のような花が咲きます。ナズナは果実がハート形ですが、マメグンバイナズナは扁平な円形で、上から下までずらっと軍配のような果実が密集して並ぶのが特徴です。写真を撮った日はまだ花が沢山咲いている段階で、果実は下のほうに数個だけ。花が終わって果実が並んだら再び写真に収めよう！と思っていたら、数日後には刈られてしまっていました。残念。場所は安来高校の正門のすぐ横。白衣を着てしゃがんで撮影していたら、通行人に怪しい目で見られました。まあ、よくある事ですが。撮影は2023年3月。



ムシトリナデシコ（虫取撫子、虫捕撫子）

紅紫色の花がとても目立ちます。花卉の先端に浅い切れ込みがあり、可愛らしさが増しています。名前から判断して食虫植物だと思われることが多いようですが、違います。茎の一部にべとべとした粘着部分があり、下から虫が歩いて上がってくると引っかかって動けなくなるそうです。ハエトリナデシコという別名もありますが、ハエ取り紙のイメージかなと思いました。成長すると草丈は30～60cmになるそうですが、安来高校で見かけたものは10cm程度。



その後、大きな個体を見ることはなかったので、これも刈り取られてしまったかな。河原などで大群集になっていることが多いそうです。撮影は2023年6月。

ヨツバハコベ（四葉繁縷）

生徒昇降口の横で見たことのない謎の草本が生えているのに気付いたのが5月頃。つぼみのまましばらく変化がなくて、いったい何？とっていました。やっと咲いたのを見つけた時は感動して一人で叫んでしまいました。かなり小さくて花は2～3mm程度。調べてみると、日本で発見されてからあまり時間が経っていないようで、一般用の図鑑には載っていませんでした。全体的に緑色に見えるこの花、緑色が好きな私はこの花も好きになりました。撮影は2023年6月。

